

## 多摩のくらし～歳時記～夏祭り～

夏祭りは全国各地で5月から7月にかけて、地方によっては8月に月遅れの盆行事などと一緒に行われます。

この夏祭りは厳密には、田植祭り、神幸祭り、祓、魂祭の四つに分類されます。中でも田植祭りは、日本の稲作のプロセスを象徴的に演じる祭礼が重要な要素になっていることが多いといわれており、古からの伝統から、現在でも夏祭りの初めと終わりには神事が不可欠のものになっているようです。また、夏祭りは豊作への祈りのもとより、人間の罪などを清めることや、先祖の霊を心から供養することなど、盆行事と同様の目的を持つといわれます。しかし、こうした儀礼的な意味合いを残しながらも、近年の夏祭りは、夏の風物詩として楽しむイメージが強くなりました。装いを新たにされた現代の、日本人にとってのハレの世界のようです。

日本の盛夏を彩る夏祭りの代表格は、京都・八坂神社の祇園祭です。7月1日の吉符入りから29日まで連日多くの人々で賑わいます。特に山鉾巡行と神輿渡御、花傘巡行などは日本及び諸外国にも名高いです。祇園

祭の起こりは貞観11年(869年)の、全国的な疫病を鎮める勅命にあるとされ、その後も疫病流行の都度行われたそうです。当時都で盛大に催された祇園祭は、その規模の大きさや形式の新鮮さも手伝って、日本各地の祭りのあり方に多大の影響を与えたようです。博多・櫛田神社の追山笠(7月15日)も名高く、3メートル四方の台に20メートルもの心木を立て、周囲を色染めの紙で包んで美しい装飾を施した山笠に御幣をつけた半裸の人々が担ぎ、町を駆け抜ける勇壮な祭りです。また、東京に夏の訪れを告げる浅草寺のほおずき市(7月9、10日)は、功德があると言われる四万六千日に当たり、子どものカンの虫封じや、子宝に恵まれるというほおずきが売られます。他には東京入谷の鬼子母神の朝顔市(7月6日、7日)も毎年賑わいます。入谷は朝顔栽培の中心地だったようで古くから庶民に親しまれました。午前6時ごろに市が開かれ、買って帰る人は昼頃咲く花の色を楽しみにしているようです。(川口キン)



## たま今昔

区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

### その9 登戸研究所



昔

当時の登戸研究所  
撮影：吉崎一郎氏

今

現在は明治大学に  
撮影：登戸研究所資料館

写真は、明治大学生田キャンパスの図書館がある中央部分の今と昔です。昔は木造建物が100棟もあったといわれています。隣接する三田小学校・生田中学校や三田団地の一部も含む広大な土地には、戦前は地域の人たちでさえ知ることができなかった「旧陸軍登戸研究所」がありました。そこでは、陸軍の秘密戦兵器などの研究開発が行われ、その内容は厳重に秘匿されていたそうです。当時の建物の一部が、資料館として公開されています。

[文：登戸研究所保存の会・森田 忠正さん]

## たまの顔

生田緑地ばら苑園長  
石渡知幸さん

4月から生田緑地ばら苑の園長になった石渡(いしわた)知幸さんは、川崎市の職員としてずっと土木行政に携わってきました。着任早々の春の開苑では、16日間でこれまで最高の7万8000人の来苑者を記録しました。気になるのは苑内の水たまりや段差だそうです。「つまずいて怪我がないように整備していきたい」と、土木で培った経験をまずは生かしていきたいと考えています。

秋の開苑は10月中旬から11月初旬までの予定です。

[取材：河崎]



生田緑地ばら苑  
石渡知幸園長

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570  
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係  
電話 935-3148 FAX 935-3391  
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。  
区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

# 私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2014年  
(平成26年) 8月

44  
号



多摩の  
風景

4連式望遠鏡

太陽の黒点



太陽のプロミネンス



## 太陽も星も、本物を見に来て欲しい!

[取材：古川]



移動天文車  
アストロカー

生田緑地にある「かわさき宙と緑の科学館(川崎市青少年科学館)」の3階に、天体観測スペース「アストロテラス」があります。平成24年4月のリニューアルオープン時、市民からの寄付と市の費用を合わせて、コンピュータ制御の大型天体望遠鏡4台が導入されました。太陽専用の4連式望遠鏡には、太陽を安全に見るために光を10万分の1まで弱めるものと、太陽の光の中から特定の波長の赤い光(H $\alpha$ )を取り出すものがあり、このH $\alpha$ で観察するとプロミネンス(紅炎)が見えます。

毎月第2、第4土曜夜の「星を見る夕べ」を中心に天体観測会が行われ、2ヶ月に一回開かれる「星空教室」は、毎回テーマを決めて一つの天体に絞って、スケッチや写真撮影など詳しい観察会を行っています。また、昼間の公開でも、太陽の黒点やプロミネンスや明るい星を観測することができます。川崎市の中でも、特に緑と自然に恵まれ、市街地からの光の影響を周りの樹々が遮るこの立地が、天体観測には良い条件になっています。そして、主に学校の課外行事や保護者の集まりなどに要請を受けて出かけてゆくのが移動天文車アストロカーです。車には、望遠鏡や大型のディスプレイなどが搭載されています。

1年を通していつでも見に来てください。[天文学芸員・弘田澄人さん]



住所：枳形7丁目1-2  
交通：向ヶ丘遊園駅  
南口から 徒歩15分

### + 活動 天文サポーター



約3ヶ月間の研修を受けます

かわさき宙と緑の科学館では天文サポーターの研修会を開き、天体望遠鏡の操作や観察会の案内などを行う人材(ボランティア)を育成しています。昨年度の一期生は、「星を見る夕べ」の案内などをしながら、お客さんと一緒になって星空を楽しんでいます。

電話 044-922-4731  
HP <http://www.nature-kawasaki.jp>

編集後記

私たちはそれぞれの違いで結びついている。それぞれの持てる力を発揮して、少しずつ地域を元気にしていこう。情熱を身にまとい、自分の夢を生きていく。今月も元気にいきましょう! (鈴木)

■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyoo.com/>



# 多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている  
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報  
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】  
<http://tamaku-machikyo.com/>



## 多摩★まち Cafe

記事 近藤

「大暑」の7月23日に「稲田郷土史会」、日本民家園「炉端の会」、「登戸研究所保存の会」、「たま文化財ボランティアの会」の4団体を招いて行われた多摩★まち Cafe には60名以上が参加されました。テーマは「親子で知ろう／多摩の歴史」。熱気を帯びた質疑応答と交流の中、母親と参加した小学4年生は「自分の住んでいる周りに歴史のあるものが沢山あることが分かった」と興奮気味に語ってくれました。



## かわさき色輪っかつなぎ

記事 古川

7月6日(日)、多摩川河川敷では、色の力で川崎市を元気にすることを目指し活動している「からふる！」が主催、多摩川エコミュージアム共催の川崎市のイメージアップ認定事業「天まで届け！かわさき色輪っかつなぎ」が行われました。地元の稲田小わくわくプラザの子どもたちも2,000枚の色紙をつなぎ参加。市内130ヶ所の協力団体から集まった色輪っかは、多くの人の手で一本に繋がり、長さ2,210mと表示されると大きな歓声が上がリ、ギネスに！の声を聞かれるほどでした。



河川敷に伸びる色輪っか

## 長尾台コミュニティバス

記事 鈴木

協議会が発足してから約7年、まもなく「長尾台コミュニティバス」の運行がスタートします！

主なルート  
・長尾台⇄久地駅  
・長尾台⇄登戸駅



午前6時半～午後10時の運行なので、通勤や通学でも、便利に使えます。

坂が多くてもへっちゃら！

また、多摩区に本社がある(株)高橋商事さんがバスの運行や保守・管理を引き受けます。

「住民でもやればできる！」を胸に熱い思いを持った方々の夢が、今ここに実現しました。



## “エコスタ”と共に 多摩区でエコライフ

記事 山下

多摩区でエコライフの輪を広げる活動を始めて2期目(3年目)になりました。今年もエコショッピング・クッキングやごみ分別ゲームなど、イベントでエコ普及啓発活動をしていきます。

多摩区のエコを集めて発信する取り組みの第2弾として、商店街のエコ調査を始めました。環境に良いことはみんなで真似しましょう！みなさんも一緒に活動しませんか！



分かりますか？多摩区のごみ分別

## 楽しくはじめる 地域カドウのコツ

記事 高瀬

2月の「まちカツ！」の講演が短く、もっと聴きたいとの声から「ハンズオン！埼玉」の西川正先生が6月28日(土)の多摩★まち大学にフルバージョンで再登場！今回は実践編として「かぶりもの」と「食べること」を追加。「カプリーション＝かぶると脱げる(人として出会う)」を実験できました。



西川正先生が2度目の登場



参加者全員でカプリーション！

## たまたま子育てまつり

記事 鈴木

今回12年目の開催となる「たまたま子育てまつり」は、多摩区内にある子育て支援団体や市民グループ、NPO法人、行政機関が関わり実行委員会が企画運営を行い、参加者と交流を深めながら地域全体で子育てを支えていく事を目的として行われています。毎年5,000人近くの来場があり、とても盛況です。



まつりで開催されるコンサート

【日時】9月21日(日) 午前9時45分～午後3時  
【場所】多摩区総合庁舎

+α 同日に「多摩区観光協会設立記念イベント」もあります

## 多摩区の活動団体紹介！

記事 田代

### 多摩生涯学習相談ボランティアの会

多摩区内で生涯学習に関して気軽に相談できるコーナーが市民館にあります。そこでは、市民館の「シニアの社会参加支援事業講座」修了者が、平成24年から生涯学習相談ボランティアの会として活動をはじめました。毎週火曜日の10時～12時、事務所の前で市民館で活動しているサークルや市民活動団体、区内の行事等の情報提供をしています。



生涯学習の相談コーナー

## 平成26年度総会 & 新委員顔合わせワークショップ

記事 本多

5月23日(金)18時から多摩区役所で第4期多摩区まちづくり協議会の総会を開催しました。今年度は役員の変更があり、会長以下全候補が承認されました。第4期の委員は、一般公募(31人)と団体推薦(13人)です。

会員の中には子育て中のお母さんをはじめ、若い委員が増えました。そのため、5月13日と総会後の2回、まち協のことをよく知り、スムーズに活動に入るためのワークショップ



第4期会長の本多氏によるあいさつ



第4期まちづくり協議会がスタート



委員が一堂に会したワークショップ



皆のできること・やりたいことを確認

## 多摩川でエコいかだ下り

記事 河崎



第7回「エコカップいかだ下り」が、せせらぎ館近くの多摩川で8月2日(土)に行われました。晴天に恵まれたこの日は、ペットボトルや新聞紙など、環境に配慮された材料で作った個性的ないかだ13艇が参加しました。第1回目から毎年参加している中野島のチームは、紙だけのいかだを今回は作ったそうで「無謀なチャレンジですが、楽しみです」と語っていましたが、無事にゴールしました。

オリジナルいかだで川を下る！



## まち協のイベント情報 (8月～9月)

### 多摩エコスタイルプロジェクト

8/19 (火) 13:00～	多摩区エコフェスタ(牛乳パックでうちわづくり) @多摩区役所1階アトリウム
8/22 (金) 10:00～	エコショッピング・クッキング @多摩市民館・調理室

### 多摩★まち大学

8/30 (土) 14:00～	40代からはじめる地域活動のススメ @多摩区役所6階601会議室
9/30 (火) 18:30～	PRの基礎とチラシの作り方(仮題) @多摩区役所会議室

※ イベントの内容は変更になる場合があります。